


私は  
失敗したことがない  
ただ一万通りの  
うまくいかな  
い方法と  
見つけた  
だけだ



### お寺の写真館



子育てサロン「いちごの部屋」 寺ヨガ



春のお彼岸法要 (感話: 岸木勉さん)



しんらん交流ひろば★樹心の会 (4月)

これは新聞で偶然に見かけたトーマス・エジソンの言葉である。エジソンと言えば発明家として名高い。その発明は、人々の生活を変えるほどの力があつた。しかし、裏側には、1万回の失敗があつたようだ。エジソンは、それを失敗とは言わない。うまくいかない方法を見つけた、と表現している。

人間は失敗をしてしまう存在だ。そこには、苦い思いや痛い出来事もあることだろう。しかし、失敗をしたことが無駄にはならない道をこそ、人は歩むべき存在なのかもしれない。

失敗から生きることを学んでいくことは、とても豊かなことだ。失敗を通して、人生が深まっていく。そこにこそ、人が歩むべき確かな道があるのだろう。



存明寺の HP <http://www.zonmyoji.jp>

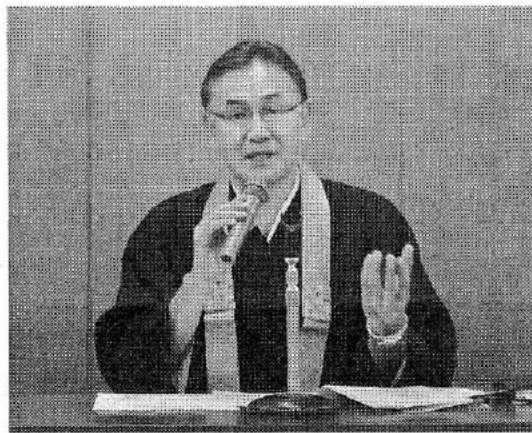
# グリーンフケアをお寺で実践

## 東京・存明寺 コミュニティの役割果たす

近親者を亡くした悲しみを癒やす「グリーンフケア」をお寺で開いている酒井義一住職が2日、東京・芝の仏教伝道センターで講演し、活動内容や運用ポイントなどを紹介した。主催は佛寺院デザイン。

5回目となる葬式仏教価値向上委員会の研究会には全国から超宗派の約30人の僧侶らが参集した。酒井住職は東京・世田谷区の存明寺（真宗大谷派）で、8年前からグリーンフケアの会を開き、大切な人を失った遺族たちに悲しみを癒やす場を提供してきた。

### 寺院デザイン 葬式仏教価値向上委員会



グリーンフケアの歩みについて話す  
酒井義一住職

自分だけがおいしいものを食べていいのだから、遺族は自責の念から残された人の胸中を

「このような行動や思いを抱くのも人間の偽らざる姿。異常なのではなく、正常だと理解する」  
「このような受容の気持ちが大抵であり、「苦しみや悲しみを感じないようにするのはなく、その意味を見いだすことが何よりも大切」と説明する。

現在のスタッフは9人。うち6人はグリーンフケアの元参加者。「この会がなければ知り合えなかった。宝だと思っっている」と酒井住職。お寺でのこうした催しは珍しく、一般には地域の公民館といったケースが多い。

お寺での開催はうらやましいとの声が寄せられるという。葬儀を共にすることで信頼関係が生まれること、檀家同士のつながりもある。葬儀の簡素化に伴い、遺族の悲嘆

を和らげていく仕組みが機能しにくくなっている中で、酒井住職の取り組みは人をつなぐコミュニティとしての役割を果たす事例となっている。さらに「グリーンフケアの歩みは音楽と共にあった」と振り返り、ある曲を紹介。「思うようには生きていけない。何度も何度も転びながら」。スピーカーから流れる歌手、新妻聖子さんの遺族の気持ちを代弁する歌詞に参加者は聞き入った。



静かに時が流れていく…。ある日のグリーンフケアのつどい

## 初めて宗祖と出会う人へ ①

未信徒を教化するとき、「宗祖に出遇った」体験を語ってこそ心に響くものがある。宗祖の姿、教えの真髄、救われた体験をどう伝えているのか、各派の宗教者に聞いた。

## 2師の熱い言葉に憧れて

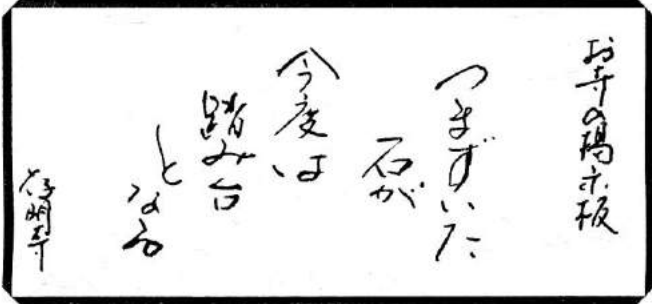
### 酒井義一存明寺住職（真宗大谷派）

本願寺横浜別院が開催した神奈川教化センター新設記念講座『初めての親鸞』は、今を生きる人々に教えに辿り着いてもらおうと企画された。初回の講師を務めた酒井義一存明寺住職は、初めて親鸞さんと出会う人々にどんなメッセージをこめたのか。

記念講座は、仏教説話 酒井住職は、「使うの おり、現代の若者や、土と750回御遠忌ソングは仏教讃歌だけではな 徳が薄いとされる首都圏『今、いのちに目覚める い。例えば今、 人気があ の人達も親鸞さんに出遇ととき』の歌詞解説に続い るSEKAINO OWう素地を持っていると思て曲を流し、導入は感性 ARIの曲にもドキッと」と話す。 させられる言葉が入って 酒井住職の自坊・存明

寺（東京世田谷）では、愛する人を失い、悲嘆に暮れる人達を支えようと、グリーンフ・ケアの集いを開いており、自身もケアを必要とする一人として参加している。「どの時代でも、愛する人と離れるという悲しみや苦悩から逃れることはできない。そうして苦しむ人達を前にしたとき、親鸞さんは『御同行御同朋』と呼ばれたはず。そこに宗教や宗派を超えた普遍性を感じる」という。

酒井住職は、2師との出遇いを『初めての親鸞』に込めた。「教えは先人を通して以外に、出会う 祖父江文宏師の研修ス



ことが出来ないと感じて タッフとして関わり、祖父江師から、時代社会に真向かいになることを教わった。また、仲人を依頼した故・藤森教念師は、仏教界改革も含め、宗祖を熱く語られ、「かつこいいな」と憧れた」と言い、「両師が亡くなった今、最後は『自分を語る』しかない。親鸞さんは過去の人ではなく、悲しむ我々（同朋）が、未来に出遇う人と教えて下さった先人の想いを、今度私がお伝えしよう、そう覚悟を決めている」と話している。



存明寺のベニシダレ桜 開花中は毎晩ライトアップ

◆5月16日(土)午後2時

樹心の会 会費:500円

親鸞聖人に人生を学ぶ

お話し 伊藤高春さん・酒井住職

◆6月13日(土)午後2時

樹心の会 会費:500円

親鸞聖人に人生を学ぶ

お話し 小林和子さん・酒井住職

◆6月27日(土)午後2時

グリーンフケアのつどい 500円

◆7月4日(土)午前11時

新盆法要 法要と法話

◆7月12日(日) 11時と13時

おぼん法要 法要と法話

◆7月25日(土)午前10時

サマーセミナー

講師 梁河文昌先生(茨城)

内容 勤行・法話・座談・懇親会

◆8月29日(土)午後2時

青年のつどい

内容はスタッフ会で打合せ中。

是非ご予約おきください。

◆9月12日(土)午後2時

樹心の会 会費:500円

親鸞聖人に人生を学ぶ

お話し 荒井治子さん・酒井住職

◆9月20日(日)午前と午後

秋のお彼岸

共同墓地オープニング

落語 瀧川鯉昇師匠(落語家)

◆9月26日(土)午後2時

グリーンフケアのつどい 500円

◆10月10日(土)午後2時

樹心の会 会費:500円

親鸞聖人に人生を学ぶ

お話し 三好浩一さん・酒井住職

◆10月24日(土)午前10時

おみがきと清掃のつどい

◆11月2日(月)・3日(火)

報恩講法要

—親鸞に出遇う法要—

講師 伊藤元先生(日豊)

◆11月21日(土)午後2時

樹心の会 会費:500円

親鸞聖人に人生を学ぶ

お話し 羽田節子さん・酒井住職

◆11月27日(金)・29日(日)

真宗本廟奉仕団(京都)

おとなのための修学旅行

◆12月12日(土)午後2時

樹心の会 会費:500円

親鸞聖人に人生を学ぶ

一年を振り返って大感話大会

◆12月19日(土)午後2時

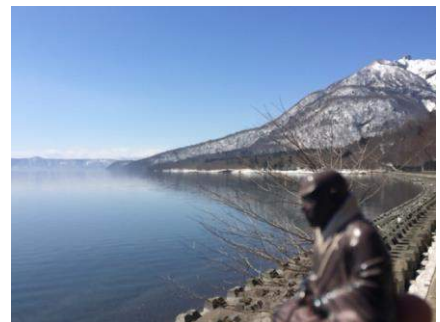
グリーンフケアのつどい 500円

※会場は、すべて存明寺です。

11月の奉仕団のみ京都です。

どうぞお気軽にご参加ください。

忙しなく  
仕事は  
何もう  
ない



【あとがき】

▼今回の『生きる』を読まれて、「新聞記事の引用が多いなあ」「ひよつとして手抜きではないのか」と思われた方もいらっしゃることでしよう。でも、それはきっと、たぶん、気のせいです。

▼4月は、いろいろな行事や研修会や出張が重なって、お寺にじっとしている時間がなかなか取れませんでした。だから今回はこのような紙面になったという次第です。

▼「忙しい」という字は、心を亡くすという意味があるそうです。「忙しい、忙しい」と言いながら、本当にすべきことをおろそかにしてはいないでしょうか。

▼ずいぶん前に聞いた言葉を思い出します。映画『生きる』(黒澤明監督)の中のセリフです。それが上記の言葉。5月の掲示板の言葉にしてみました。もちろん、自分へあてた言葉として、です。(自愛下さい。)

(住職)

東京都世田谷区北烏山4-15-1

真宗大谷派 存明寺

住職 酒井義一

〒157-0061 TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880

E-mail : sakai@zomyoji.jp